



松葉 晴彦 議員

誘客にはコンベンション誘致を！

【問】観光客数と体験型観光について



【問】観光客数と体験型観光について

【問】観光客数と体験型観光について

【問】大成功の国体の見解は。

【答】冬季大会3万5千人、本大会10万人を超える来場者があり、しかも選手、大会関係者延べ一万人の方が本市で宿泊され地元経済にも大きな波及効果があった。

実績は。

【答】377万人で、国体や誘客キャンペーンの効果もあって、大震災後としては大幅に回復した。

【問】体験型観光の実績は。

【答】農山村体験の需要増加とプログラムの充実により5,825人の受け入れで108%の伸び。

【問】今後のコンベンション誘致について

【問】コンベンション誘致の方向性は。

【答】全国的に客数の伸び悩みが続く中、コンベンション誘致による客数増は地域経済にとっても重要である。市としても積極的に誘致に力を入れ、特に平成24年度からはスポーツ大会もコンベンション開催支援補助金の対象としている。

【問】平成25年度のコンベンション計画は。

【答】現時点では20件を計画している。主だったものは太陽物理学のシンポジウム、全国女性消防団員活性化大会等である。

【問】畜産の実績と若い獣医師の確保について

【問】畜産の飼育実績と診療等の実績は。

【答】畜産農家数263戸で販売額は78億円である。

【問】獣医師の現状と課題は。

【答】市の獣医師6名と民間の5名の診療体制であるが市の獣医師の高齢化が課題である。



村瀬 祐治 議員

若者の未婚率が50% 結婚支援対策は

【問】学校給食でのアレルギー対策は

【問】学校給食でのアレルギー対策は

【答】除去食、代替食は個々にジップパー付きビニール袋に入れて、学校名、名前を記入して配食している。

【問】各学校での統一した食物アレルギー対応マニュアルの内容は。

【答】学校保健会の「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」を基に対応している。

【問】25歳から35歳までの未婚率は約50%。結婚支援対策は。

【問】25歳から35歳までの未婚率は約50%。結婚支援対策は。

【答】下呂市と連携しポータルサイトによる未婚の方への情報や交流場の提供により、より多くの方が出会うように結婚促進を、また中心市街地の活性化も含めて出会いイベントにも支援していく。

【問】「生涯未婚者」国勢調査では50歳時点で一度も結婚していない方が男性は10人に1人、女性では5人に1人の状況である。増加傾向にあるが、50歳前後を中心とした出会いの場の創設については。

【答】50歳以上を対象とした結婚支援イベントを新たな事業として検討していく。

【問】小中学校の学年の学校の通学区の見直しについて

【問】小中学校の学年の学校の通学区の見直しについて

【問】少子化で適正規模に見直しについては。

【答】教育委員会・通学区審議会などで適正な通学区域について適正規模という面も含め、総合的に考えていきたい。

【問】冬季通学での公共交通の利用は

【答】今年度試験的にのらマイカーを利用して利用を検討する。

【答】今年度試験的にのらマイカーを利用して利用を検討する。